



令和5年1月17日

担当課	文化振興課
担当者	辻・西出
電話	(073) 435-1194
内線	3026

## 令和4年度 和歌山市文化的風土の醸成事業 有吉佐和子記念館 開館記念 文化イベント「有吉佐和子と杉並・堀の内」

文化の発信と文化的風土の醸成を図ることを目的に、本市出身の作家 有吉佐和子の魅力を研究者や編集者の立場から紹介するトークセッションと、ゆかりの地 杉並にまつわる落語を楽しむ文化イベントを開催します。

日時 令和5年1月21日（土）14:00～16:00（開場13:30）

場所 和歌山市立博物館 2階 講義室

定員 先着100人 入場無料（当日受付）

### 内容 【第一部】

#### ■有吉玉青氏からのご挨拶

この38年 — 記念館ができるまで 和歌山の皆様に感謝を込めて

#### ■トークセッション「有吉佐和子の原点」

コーディネーター おんだ まさかず 恩田 雅和氏（有吉佐和子記念館館長）

出演者 おかもと かずのり 岡本 和宜氏（近代文学研究者）

とうじょう りつこ 東條 律子氏（河出書房新社編集者）

### 【第二部】

#### ■落語「堀の内」

出演者 さんしょうてい ゆめはな 三笑亭 夢花師（落語家）

<出演者> ※プロフィールは別添チラシ参照



ありよし たまお  
有吉 玉青氏  
©織田桂子  
(大阪芸術大学教授)



おかもと かずのり  
岡本 和宜氏  
(近代文学研究者)



とうじょう りつこ  
東條 律子氏  
(河出書房新社編集者)



さんしょうてい ゆめはな  
三笑亭 夢花師  
(落語家)



おんだ まさかず  
恩田 雅和氏  
(有吉佐和子記念館館長)

# 有吉佐和子と

## 杉並・堀の内

文化の発信と文化的風土の醸成を図ることを目的に、

本市出身の作家 有吉佐和子の魅力を

研究者や編集者の立場から紹介するトークセッションと、

ゆかりの地 杉並にまつわる落語を楽しむ文化イベント。

コーディネーター

恩田 雅和氏 (有吉佐和子記念館館長)

### 第一部

#### ■有吉玉青氏からのご挨拶

この38年——記念館ができるまで  
和歌山の皆様に感謝をこめて

#### ■トークセッション「有吉佐和子の原点」

出演者 岡本 和宜氏 (近代文学研究者)  
東條 律子氏 (河出書房新社編集者)

### 第二部

#### ■落語「堀の内」

出演者 三笑亭 夢花師

令和5年1月21日(土)14:00~16:00(開場13:30)

会場 和歌山市立博物館 2階 講義室

※お車でお越しの方は博物館地下駐車場(有料)をご利用ください。

先着 100人(当日受付) ※定員を超えた際は入場できない場合があります。

■主催 和歌山市 ■問合せ先 文化振興課(073-435-1194)、博物館(当日のみ、073-423-0003)

入場  
無料

# 出演者プロフィール



©織田桂子

大阪芸術大学教授

ありよし  
たまお  
**有吉 玉青**

1963年、東京都生まれ。

1984年に母・佐和子の急逝にあう。1990年、母との日々を綴った『身がわり』で坪田譲治文学賞を受賞。1993年、ニューヨーク大学大学院演劇学科修了。帰国後、本格的に執筆活動を開始。2014年、佐和子の没後30年に、母を支えた祖母を描いた『ソボちゃん』を上梓した。著書に『ねむい幸福』『キャベツの新生活』『車掌さんの恋』『風の牧場』『月とシャンパン』『美しき一日の終わり』『ルコネサンス』（以上小説）、『雛を包む』『世界は単純なものに違いない』『恋するフェルメール』（以上エッセイ）などがある。2008年から大阪芸術大学教授を務める。2022年度和歌山市文化功労賞受賞。



近代文学研究者

おかもと  
かずのり  
**岡本 和宜**

1975年、和歌山市生まれ。

皇學館大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。近畿大学付属和歌山中学校・高等学校元国語講師。丹羽文雄、有吉佐和子等、近代文学の研究者であり、2013年に『丹羽文雄書誌』を刊行。三重県四日市市にある丹羽文雄記念室をはじめ、全国の古書店等を調査し、約15年かけて資料を収集した。有吉佐和子作品の調査研究を進め、2022年に『有吉佐和子の本棚』を刊行。著書に『丹羽文雄書誌』、論考に『伊勢志摩と近代文学』『紀伊半島近代文学事典』『有吉佐和子の世界』、論文に『有吉佐和子「日高川」論』『有吉佐和子「新蝶々夫人」論』などがある。



河出書房新社編集者

とつじよう  
りつこ  
**東條 律子**

1962年、東京都生まれ。

青山学院大学文学部卒業。河出書房新社・編集者。2014年～2020年に刊行した河出書房新社130周年記念・「池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集」では日本文学全集編集長を務め、池澤夏樹訳『古事記』、角田光代訳『源氏物語』など多数担当した。有吉佐和子関連本では2020年11月刊行の『非色』を始め、『一糸』『閉店時間』『女二人のニューギニア』の復刊リニューアル文庫、単行本『有吉佐和子の本棚』を企画編集している。



落語家

さんしやうてい  
ゆめはな  
**三笑亭 夢花**

1971年、和歌山市生まれ。

和歌山市立楠見中学校、和歌山県立和歌山西高等学校卒業。1993年、初代三笑亭夢丸に入門し、筆頭弟子の初夢の名をもらう。1997年、二ツ目となり、恋生を名乗る。2007年、真打ち昇進して、夢花と改める。現在落語芸術協会の看板の一人として新宿末広亭などでトリを務める。



有吉佐和子記念館館長

おんだ  
まさかず  
**恩田 雅和**

1949年、新潟県新潟市生まれ。

慶応義塾大学文学部卒業。大阪大学大学院文学研究科修了。和歌山放送に入社、記者やディレクターとして多くの番組を担当。1987年、落語家 桂さん福と「紀の芽寄席」を立ち上げ、和歌山市内で落語会を開催。1991年からはラジオ番組「紀の国寄席」を担当。2007年、上方落語協会会長 桂文枝（当時：桂三枝）に招聘され、天満天神繁昌亭支配人に就任。有吉佐和子や夏目漱石など、近代文学の研究者でもあり、1985年から4年間「有吉佐和子作品を読む会」を主宰、2000年から「和歌山漱石の会」を主宰し、各地で講演やシンポジウムなどを多数開催。2017年度和歌山市文化功労賞受賞。著書に『落語ジャーナリズム』論考に『有吉佐和子の世界』『現代日本の開化』と和歌山』などがある。2022年、和歌山市立有吉佐和子記念館館長に就任。